Kenko



ケンコー ドライブレコーダー

KDR-A10

取扱説明書

このたびはドライブレコーダー「KDR-A10」をお買い上げいただき、ありがとうございます。 ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。 また、取扱説明書は必ず大切に保管してください。

目次

はじめに	3
安全上のご注意	4
ドライブレコーダー KDR-A10 の紹介	
セット内容	5
各部の名称	7
取り付け方法	
付属のSDメモリーカードを取り付ける	3
車内にドライブレコーダーを取り付ける	9
設置状況を確認してカメラの角度を調整する	11
設定	
メインメニュー	12
再生 LCD 出力	
再生 AV 出力	
カメラ LCD 出力	
カメラ AV 出力	
システム設定	
衝撃感度	
画像	
フレーム数(フレームレート)	
音声録音	
データ保護	
デープ音	
バックライト点灯時間	
日時設定	
録画	_0
録画	22
通常録画	
衝撃検知録画	
手動録画	

再生	
録画した映像の再生	2
テレビなどでの再生	2
ファイル名	2
データの保存場所	2
ファイルの削除	
ドライブレコーダー本体で削除する	2
フォーマット	
SD/SDHC メモリーカードのフォーマット	2
付属のソフトウェア	
付属ソフトウェアの説明	3
PC Viewer KDR-A10 のインストール手順	3
PC Viewer KDR-A10 の使用方法	
画像データの取り込み	3
PC Viewer KDR-A10 のパソコン画面の説明	3
保存データの再生	3
録画した映像のファイル形式を変換する	
録画した映像を静止画(JPEG 形式)に変換する	3
SD メモリーカードがいっぱいになった時は	3
故障かな?と思ったら(トラブルシューティング)	4
エラーメッセージ	
エラー表示	4
仕様	
仕様	4
パソコンの動作環境	
保証規定	
保証書	4

はじめに

ご使用前にお読みください

このたびはドライブレコーダー「KDR-A10」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。またお読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

- ■本製品は事故などの衝撃(加速度)を検知して発生前後の映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ■本製品はの映像は事故の証拠としての効力を保証するものではありません。
- ■本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、間接/直接の損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ■本製品で記録した映像の使用方法によってはプライバシーを侵害する場合がありますが、当社は一切の責任を負いません。
- ■録画条件(昼・夜・雨天)により、録画時間が少なくなる場合があります。
- ■走行中、運転者は画面を注視したり、メニューなどの操作をしないでください。運転者が走行中、画面を注視することは道路交通法(道交法第71条)で禁止されています。
- ■液晶モニターに使用されている液晶パネルは非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。液晶パネルメーカーの保証値となります。また、記録される画像には影響されません。

- AV ケーブルは付属している本機専用ケーブルをご使用 ください。市販のケーブルなどでは正常に動作しない場合があります。
- ■本製品は日本国内専用です。
- ■本製品を最初に自動車に設置した際、実際に車道に出て使用を開始される前に、駐車場などで走行し、映像が撮影、保存されているかで確認いただくことをお勧めします。
- ■本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ■本取扱説明書の図や画面などは説明のために作成された ものです。一部実際とは異なります。
- ■本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
- ■製品改良のため予告無く外観、仕様などを変更する場合があります。
- ■本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意(必ずお読みください)

●はじめにお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目を 必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他 の人々への危害と財産への損害を未然に防止するため に、次の表示で説明しています。



この指示に従わないで誤った取扱いをする と、人が死亡または重傷を負う切迫した危 **危険** 険の発生が想定される内容です。



この指示に従わないで誤った取扱いをする と、人が死亡または重傷を負う可能性が想 警告 定される内容です。



この指示に従わないで誤った取扱いをする と、人が障害を負う可能性または、物的損 害が生じる可能性が想定される内容です。

企 危険

- ■本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工お よび、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、 破裂の危険があります。
- ■可燃性ガス、爆発性ガスなど存在する恐れのある場所で の本機の使用はおやめください。引火爆発の原因となり ます。

⚠ 警告

- ■本体内部(SDカードスロット)に水や異物を入れないで ください。火災や感雷、故障の原因になります。
- ■本製品の分解や改造/修理は行わないでください。火災 や感雷、故障、異常動作により怪我の原因となります。 内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼くだ さい。
- ■感電の可能性がありますので、濡れた手で本製品(シガー) プラグなど)を触らないでください。
- ■運転者は走行中に操作したり、液晶モニターを注視した いでください。運転中の機器の操作は交通事故の原因に なります。
- ■本製品は、12V/24V専用です。指定電圧以外の電圧では 使用しないでください。機器の故障や、火災や感電の原 因になります。

⚠ 警告

- ■煙が出たり、異常音や異臭がするなど、異常な状態のまま使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- ■取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは交通事故や故障の原因となります。
- ■定期的に取り付け状態を確認してください。
- ■エアバックの近くに取り付けたり、電源ケーブルの配線 をしないでください。誤った取り付けや配線の引き回し は、エアバックが正常に作動しない場合があります。
- ■本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡ら したりしないでください。製品内部に水が入ると火災や 感電、故障の原因となります。
- ■本製品に何らかの液体が入った場合、直ちに使用を中止 してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合 わせください。
- ■小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲に本製品を放置しないでください。
- ■配線ケーブルなどが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないように配線を行ってください。
- ■ポリ袋(梱包用)などを小さなお子様の手の届くところ に置かないでください。口にあてて窒息の原因になるこ とがあります。

注意

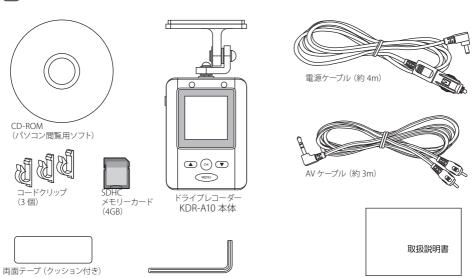
- ■ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを で使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると 火災の原因となります。
- ■シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよく拭き取ってください。接触不良を起こし火災の原因となります。また、本製品を使用しない場合はシガーソケットからシガープラグを抜いておいてください。
- ■電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因となります。
- ■本製品に付属のケーブルを接続するときに、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因となります。
- ■ケーブルなどを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。
- ■レンズを直接太陽に向けて設置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災の原因となります。

その他のご注意

- ■本製品が汚れたときは、市販のクリーニングクロスで拭き 取ってください。撮影レンズが汚れた際は、ブロワーなど でホコリを吹き飛ばす程度にしてください。
- ■ラジオやテレビの近くに設置した場合、受信障害を引き起 こすことがあります。

ドライブレコーダー KDR-A10 の紹介

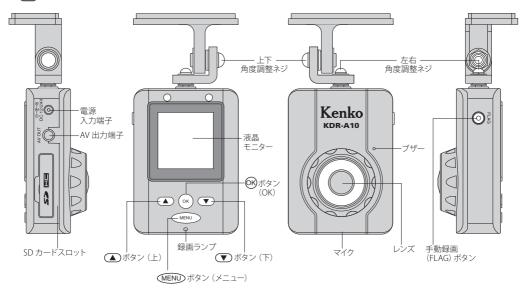
▶セット内容



六角レンチ (角度調整用)

取扱説明書/保証書付き(本書)

▶ 各部の名称



取り付け方法

▶ 付属の SD メモリーカードを取り付ける

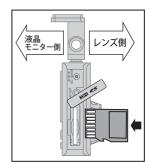
撮影された映像は、SDメモリーカードに保存されます。

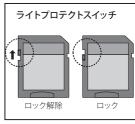
ドライブレコーダー本体の SD カードスロットのカバーを上図のように開け、SD メモリーカードの接点を液晶モニター側にしてカチッと音がするまで押し込みます。

取り外すときは、SDメモリーカードを軽く押し込みます。SDメモリーカードが少し飛び出します。



- ◆差し込みにくい時は挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- ◆付属のSDメモリーカードをご使用ください。他のSD/SDHCメモリーカードをご使用になる場合は、専用のアプリケーションを使用してフォーマットする必要があります。P29「SD/SDHCメモリーカードのフォーマット」をご覧ください。SD/SDHCメモリーカードは、2GB~32GBまでご使用いただけます。
- ◆付属のSDメモリーカードのライトプロテクトスイッチを確認します。SDメモリーカードが右図のようにロックされた状態の場合は、スイッチを上に上げてロックを解除します。

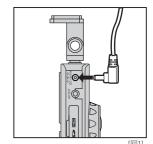




▶ 車内にドライブレコーダーを取り付ける

KDR-A10を取り付け、配線をします。

- 1. ドライブレコーダ本体の電源入力端子に、付属の電源ケーブルの DC コ ネクタ側を差し込みます。[図1]
- 2. 電源ケーブルの反対側のシガーコネクタ側を車内のシガーソケットに差 し込みます。[図2]
- 3.自動車のエンジンを始動させると、ドライブレコーダーの電源が入り、 自動的に録画が開始されます。(次ページに続く)
- ◆液晶モニターが表示されない場合は、MENDボタンを長押しす るとメインメニューが表示されます。「カメラ AV 出力」から、「カ メラ LCD 出力」に変更してください。 P15「カメラ (LCD/AV) 出力」をご覧ください。
- ●お客様のご希望により、シガープラグを使用せずに直接電源に 配線する場合は、必ず自動車と電気の知識のある専門業者に依 頼してください。配線・取り付けの不備により発生した、直接 あるいは間接の被害に関し、当社は一切の責任を負いかねます ので、あらかじめご了承ください。





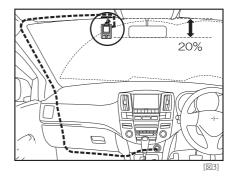
取り付け方法

▶ 車内にドライブレコーダーを取り付ける(前ページから)

4. ドライブレコーダー上部に付属の両面テープを貼り、 車内のフロントガラス上面の 20% の範囲内で、視界の 妨げにならない位置に、ガラスの汚れを拭き取ってか ら取り付けてください。[図3]



- ◆ルームミラーの操作に邪魔にならないように取り付けてください。
- ◆ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。



5.電源ケーブルを車のシガーソケットから抜きます。ケーブルをガラス上面の天井部分の隙間に押し込み、サイドピラーを経由してシガーソケットまで付属のコードクリップを使って配線します。 再びシガーコネクタを差し込みます。



◆電源ケーブルを配線するには際、同乗者の足や可動する機器などに絡まないよう、また、運転操作に支障がないように十分に注意してください。

▶ 設置状況を確認してカメラの角度を調整する

実際の設置状況(映り具合)を液晶モニターで確認しながら、ドライブレコーダーの角度を調整します。

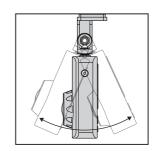
1. エンジンを始動させると、ドライブレコーダーの電源が入り、自動的に 録画が開始されます。

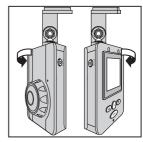
液晶モニターで確認しながら、取り付け角度を調整します。

- 2. 上下・左右の角度調整ネジを、付属の六角レンチで緩めて、液晶モニター を見ながら車両の前方を録画できるように角度を調整して、位置を決めます。
- 3. 六角レンチで上下・左右の角度調整ネジを共にしっかり締めて、本体を 確実に固定します。



- ◆「メインメニュー」から「カメラ LCD 出力」を選択するとライブビューします。P12「メインメニュー」、P15「カメラ LCD 出力」をご覧ください。
- ◆広角レンズを使用していますので画角周辺に歪みが生じますが、 光学特性上、生じる現象で故障ではありません。





設定

メインメニュー

KDR-A10 の基本設定をします。

自動車のエンジンを始動させると、ドライブレコーダーの電源が入り、自動的に録画が開始されます。

- 1. MENUボタンを 2 秒以上長押しして、メインメニューを表示します。[図 1]
- 2. ▲または ▼ボタンを押して各項目を選択し、
 ◎ボタンを押してサブメニューに入ります。
- 3. ▲または▼ボタンを押して設定を選択し、®ボタンを押して決定します。

0

◆白地の項目が選択されています。

メインメニュー 再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定 日時設定 ●録画開始へ

[図1]

▶ 再生 LCD 出力

「再生 LCD 出力」を選択時は、本機の液晶モニターで再生します。

- 1. メインメニューから「再生 LCD 出力」を選択し、∞ボタンを押してサブメニュー(再生データ種類)を表示します。[図 1]
- 2. ▲ または ▼ ボタンを押して下記のいずれかを選択し、 ® ボタンを押して決定します。 [図 2]

全てのデータ:全ての録画データのファイル名を表示します。

衝撃データ:G センサーが衝撃を検出した録画データのファイ

ル名を表示します。

ボタンデータ:手動(任意)で録画したデータのファイル名を表

示します。

6

- ◆再生方法は、P24「録画した映像の再生」をご覧ください。
- ◆再生時、MENDボタンを押すとデータの一覧に戻ります。さらに MENDボタンを2度押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー

再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定 日時設定

●録画開始へ

[図1]

再生データ種類 全てのデータ 衝撃データ ボタンデータ

[図2]

設定

▶ 再生 AV 出力

「再生 AV 出力」を選択時は、カーナビなどのモニター(別売)、あるいはテレビ(別売)などに付属の AV ケーブルを接続して再生します。

- 1.メインメニューから「再生 AV 出力」を選択し、®ボタンを押してサブメニュー(再生データ種類)を表示します。[図 1]
- 2. 再生方法は「再生 LCD 出力」と同様です。



- ◆再生方法は、P25「テレビなどでの再生」をご覧ください。
- ◆この出力モードでは液晶モニターでは再生されません。接続したテレビなどで再生します。

メインメニュー 再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定 日時設定 ●録画開始へ

[図1]

▶ カメラ LCD 出力

リアルタイムの映像を液晶モニターに表示します。 KDR-A10 のセッティング時にご使用ください。



- ◆「カメラ LCD 出力」選択時は、録画はできません。
- ◆ MENUボタンを押すとメインメニューに戻ります。

▶ カメラ AV 出力

リアルタイムの映像をテレビ(別売)などに表示します。 付属の AV ケーブルをご使用ください。



- ◆「カメラ AV 出力」選択時は、録画はできません。
- ◆液晶モニターはオフになります。
- ◆ (MENU)ボタンを押すとメインメニューに戻ります。

メインメニュー 再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定 日時設定

●録画開始へ

メインメニュー 再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定

日時設定 ●録画開始へ

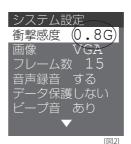
設定

▶システム設定

KDR-A10 の基本設定をします。

- 1. メインメニューから「システム設定」を選択し、●ボタンを押してサブメニュー(システム設定)を表示します。[図1]
- 2. ▲または ▼ボタンを押して各項目を選択し、 ❸ボタンを押します。 ⑥ボタンを押すごとにその項目の設定値が変わります。 [図2]
- 3. ▲または ▼ボタンを押して他の項目を設定します。
- 4. すべての項目の設定が完了したら、「設定保存」 を選択し、®ボタンを押して決定します。[図3]
- 5. メインメニューに戻ります。

◆「設定保存」を選択して®ボタンを押す前にŒNDボタンを押してメインメニューに戻るとシステム設定は変更されません。



メインメニュー 再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定

日時設定

●録画開始へ

[図1]

システム設定 バックライト 点灯時間 30 秒

設定保存

18

[図3]

≫ 衝擊感度(初期設定:0.8G)

G(衝撃)センサー感度を設定します。

0.3G/0.4G/0.5G/0.6G/0.7G/0.8G/0.9G/1.0G/1.2G/1.5Gから選択します。



◆数値が小さいほど、弱い衝撃を検知しますので歩道との段差で も検出する場合があります。また、数値を大きくすると軽い接 触を検出しない場合があります。

≫ 画像(初期設定:VGA)

録画サイズを設定します。

VGA:640 × 480 / **QVGA**:320 × 240 から選択します。



◆ VGA サイズにすると高画質になりますが、データ容量が大きくなり、同じ SD メモリーカードに保存できる時間(ファイル数)が少なくなります。

システム設定 衝撃感度 (0.8G) 画像 VGA フレーム数 15 音声録音 する データ保護しない ビープ音 あり

システム設定 衝撃感度 0.8G 画像 VGA フレーム数 15 音声録音 する データ保護しない ビープ音 あり

設定

1 秒間に撮影するフレーム数 (fps) を設定します。

「15」/「5」から、選択します。



◆フレームレートを大きくすると再生時、動きがなめらかですが データ容量が大きくなり、同じSDメモリーカードに保存できる 時間(ファイル数)が少なくなります。 システム設定 衝撃感度 0.8G 画像 VCA フレーム数 15 音声録音 する データ保護しない ビープ音 あり

| 音声録音(初期設定:する)

撮影と同時に音声(車内)も記録します。

「**する**」/「**しない**」から、選択します。



◆音声録音を「する」に設定するとテレビなどでの再生時、また はパソコンでの再生時に音声も再生されます。

システム設定 衝撃感度 0.8G 画像 VGA フレーム数 15 音声録音 する データ保護しない ビープ音 あり

≫ データ保護(初期設定:しない)

衝撃データ (G センサーが衝撃を検出) とボタンデータ (手動で任意に録画) を保護するかを設定します。

「する」/「しない」から、選択します。



◆「しない」を選択すると SD メモリーカードがいっぱいになった場合、上書きされます。事故の瞬間のファイルが消去されますのでご注意ください。

システム設定 衝撃感度 0.8G 画像 VGA フレーム数 15 音声録音 する データ保護しない ビープ音 あり

◯ ビープ音(初期設定:あり)

ビープ音 (操作音) のオンオフを設定します。 「**あり**」/「**なし**」から、選択します。

∭バックライト点灯時間(初期設定:30秒)

液晶モニターの照明点灯時間を設定します。 「30秒」/「常時」から、選択します。 システム設定 衝撃感度 0.8G 画像 VGA フレーム数 15 音声録音 する データ保護しない ビープ音 (あり)

システム設定 バックライト 点灯時間 (30)秒

設定保存

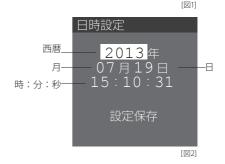
設定

▶ 日時設定

KDR-A10 に日付/時刻を設定します。

1. メインメニューから「日時設定」を選択し、∞ボタンを押して「日時設定」 メニューを表示します。[図 1] メインメニュー 再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定 日時設定 ●録画開始へ

- 3. 同様に続けて「月」「日」「時間」を設定します。 (時間は 24 時間表示です)
- 4. すべての設定が完了したら、「設定保存」を選択し、∞ボタンを押して決定します。



5. 設定保存の表示後、メインメニューにもどります。[図3]

日時設定 2013年 10月01日 15:00:00 設定保存

[図3]



- ◆「設定保存」を選択して⑥ボタンを押す前に ←がポタンを押すと、設定は保存されずメインメニューに戻ります。
- ◆日付/時刻は、ファイルデータとして記録されますので、できる限り正確に設定してください。 また、月に1回以上、合っているか確認して、必要に応じて修正してください。
- ◆日付/時刻は、内蔵電池で保持されていますが、およそ30日以上エンジンを始動しないとリセットされますのでご注意ください。

録画

▶ 録画

録画方法は、通常録画/衝撃検知録画/手動録画の3種類あります。 これらはそれぞれ別々のフォルダに保存されます。



(特に意味はありません)

💹 通常録画

本製品をシガーソケットに接続することで、エンジンを始動すると自動的に録画を開始します。 1.SDメモリーカードが挿入されていることを確認します。

2. エンジンを始動(ACC ON)すると電源が入り、映像(ライブビュー)が約5秒間液晶モニター に表示され、録画を開始して録画中画面を表示後にモニターはオフになります。



◆録画中はライブビューできません



圖擊検知録画

Gセンサーが衝撃を検知した場合、検出前約60秒間、 検出中(最初の衝撃検出から)約60秒間、検出後約60秒間の映像を録画して自動で保存します。



衝撃前衝撃検知衝撃後60秒60秒60秒



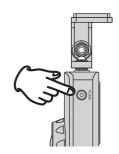
- 「システム設定」で「データ保護」を「する」に設定すると衝撃検出録画と手動録画の映像データは、上書きされません。
- ●「データ保護」を「する」に設定変更をお勧めします。

手動録画

手動録画 (FLAG) ボタンを押すと、押す前約 60 秒、押してから約 60 秒、 その後約 60 秒間、自動で保存します。



◆ G センサーが検出しない軽い接触、あるいはドライブ中の 景色などを保存します。



再生

▶ 録画した映像の再生

本機の液晶モニターまたはテレビ (別売) などで再生します。 再生出力の切り換えは P13 の「再生 LCD 出力」をご覧ください。

- 1. データ一覧から、再生するファイルを(▲)または(▼)ボタンで選択して(※)ボタンを押すと再生を開始します。
- 2. 再生中に、(▼)ボタンを長押しすると早送りします。
 - (M)ボタンを押すと一時停止します。再度(M)ボタンを押すと再生を再開します。
 - ▼ボタンを短く押すと次のファイルを再生します。
- 4. (MEND) ボタンを押すとデータ一覧に戻ります。さらに(MEND) ボタンを2回押すとメインメニューに戻ります。

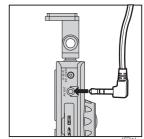
テレビなどでの再生

テレビ (別売) あるいは、カーナビなどのモニター (別売) などに、付属の AV接続ケーブルを接続して再生します。

- 1. 付属の AV ケーブルを AV 出力端子 (AV OUT) に接続します。 [図 1]
- 2.もう一方の RCA 端子(黄色:映像入力、白色:音声(L)入力)をお使 いのテレビなどに接続します。[図 2]
- 3.「再生 AV 出力」に切り換えてください。
- 4. 再生方法は、液晶モニターの再生と同様です。



- ▶テレビなどの入力端子の場所、使用方法は、お使いのテレビな どの取扱説明書をご覧ください。
- ◆「再牛 AV 出力」選択時は、本機の液晶モニターでは再牛されま the

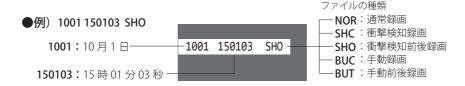






再生

>> ファイル名





- ◆ファイル名の日付/時刻は録画の開始時間となります。
- ◆パソコン画面でのファイルの種類は、日本語で表示されます。

データの保存場所

録画されたデータは3種類のフォルダに保存されています。

- 1. (MENU)ボタンを 2 秒以 ト長押ししてメインメニューを表示します。
- 2. (▲)または(▼)ボタンで「再生 LCD 出力」を選択して®ボタンを押します。 [図1]
- 3.「再牛データ種類」メニューが表示されます。

(▲)または(▼)ボタンを押して以下のいずれかを選択し、(※)ボタンを押し て決定します。「図 21

すべてのデータ:すべての録画されたデータが保存されています。

衝撃データ:G センサーが衝撃を検出して録画されたデータが保存 されています。

(衝撃検知録画データ)

ボタンデータ:手動(仟意)で録画されたデータが保存されています。

(手動録画データ)

4. データー覧が表示されます。

メインメニュー 再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定 日時設定 録画開始へ

[図1]

再生データ種類 すべてのデータ 衝撃データ ボタンデータ

[図2]

ファイルの削除

▶ ドライブレコーダー本体で削除する

SD メモリーカードに保存した撮影データをドライブレコーダー本体で削除します。

- 1.削除したいファイルを再生(または一時停止)します。 P24「録画した映像の再生」をご覧ください。
- 2. 手動録画 (FLAG) ボタンを押すと削除範囲の画面が表示されますので削除したい範囲を、▲または▼ボタンで選択して®ボタンを押します。[図 1]

このデータのみ:選択されている録画データを削除します。 **衝撃データ全て**:すべての衝撃検知録画データを削除します。

ボタンデータ全て: すべての手動録画データを削除します。

- 3.削除の確認画面が表示されるので、削除してもよい場合は、▲または▼ボタンで「はい」を選択して
 ⊗ボタンを押します。[図 2]
 データー覧に戻ります。
- 4. 録画を再開する場合は (MEND) ボタンを 2 回押して、 メインメニュー表示にします。 ▼ ボタンを押して「● 録画開始へ」を選択し、(®) ボタンを押します。 [図3]
- ※ P39「SD メモリーカードがいっぱいになった時は…」もご覧ください。

削除範囲 このデータのみ 衝撃データ全て ボタンデータ全て

[図1]

削除確認 削除しますか? いいえ <mark>はい</mark>

メインメニュー 再生 LCD 出力 再生 AV 出力 カメラ LCD 出力 カメラ AV 出力 システム設定 日時設定

●録画開始へ

[図2]

[図3]

フォーマット

SD/SDHC メモリーカードのフォーマット

付属の SD/SDHC メモリーカードが保存データでいっぱいになった場合、あるいはその他(デジタルカメラなどで)で使用した SD/SDHC メモリーカードを使用する場合はフォーマットします。

- 1.SD Association のホームページへアクセスします。 https://www.sdcard.org/jp/downloads/formatter_4/ ※必要に応じて日本語表示にします。
- 2. ダウンロードページから、お客様がお使いのコンピュータの OS に適合した SD フォーマッターを選択し、ダウンロードします。





- ●パソコンを使用したフォーマットでは動作保証はできません。
- ●フォーマットする前に必要に応じて CD-ROM などにバックアップをとってください。 一度フォーマットするとデータは元に戻せません。
- ●ソフトウェアはアップデートされる場合があります。



- ◆新品の SD/SDHC メモリーカードはそのままお使いください。(不安定な場合はフォーマットしてください)
- ◆他のカメラなどで撮影したファイルが保存された SD/SDHC メモリーカードをセットすると誤動作する場合があります。必ず上記の方法でフォーマットしてください。
- ◆同ホームページより SD カードフォーマッター 4.0 ユーザーマニュアル」のダウンロードもできます。
- ◆ダウンロードは無料ですが、インターネットへの接続環境が必要となります。インターネットへの接続料などは、お客様の負担となりますのであらかじめご了承ください。

付属のソフトウェア

付属ソフトウェアの説明

付属のソフトウェアは、ドライブレコーダー KDR-A10 で撮影して SD メモリーカードに保存した映像データを、パソコンで詳細に再生します。

また、Windows に標準装備されている Windows Media player で再生できる AVI 形式や JPEG 形式などのファイル形式に変換する便利な機能もあります。

PC Viewer KDR-A10 インストール手順

- 1.付属の CD-ROM をパソコンの CD/DVD ドライブへセットします。自動的に CD/DVD ドライブが表示されます。 自動的に表示されない場合は「スタート」→「コンピューター」の順にクリックして「CD/DVD ドライブ」を開きます。
- 2. 例えばデスクトップにインストールする場合、「現在ディスクにあるファイル」の「PC Viewer KDR-A10」ファイルをデスクトップにドラッグ&ドロップしてコピーします。[図1]



[図1]

3. デスクトップにアイコンが作成されたことを確認してください。





- ◆ドラック&ドロップとは、アプリケーション「PC Viewer KDR-A10」をクリックしたままマウスを移動して任意の場所で外すことです。
- ◆「PC Viewer KDR-A10」をアンインストールする場合は、直接アイコンを削除してください。
- ◆お使いのコンピュータの OS などにより表示が異なる場合があります。

付属のソフトウェア

DPC Viewer KDR-A10 の使用方法

画像データの取り込み

- 1. デスクトップに作成された「PC Wiewer KDR-A10」のアイコン をダブルクリックして起動します。[図 1]
- 2 ドライブレコーダー本体から SD メモリーカードを取り出しま す。 P8「付属のSDメモリーカードを取り付ける」をご覧ください。
- 3. 外付けの SD カードリーダー (別売) またはお使いのパソコンに SD カードスロットが装備されている場合には SD カードスロッ トに KDR-A10 ドライブレコーダーから取り出した SD メモリー カードをセットします。 パソコンが SD カードを認識します。 フォルガーの節節

フォルダを選択して下がし

● ネットワーク (ii) 94(75)

▲ 原コンピューター

> ▲ ローカル ディスク (C)

> 48 DVD RW F5(17 (P.

DRVIEWER (F)

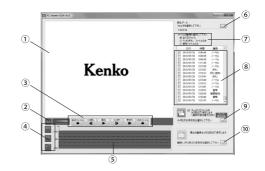
- 4. 右上の再生データをクリックします。[図 2]
- 5SDメモリーカードのセットされたフォルダ を選択します。

例では DAT フォルダを選択 [図 3]



PC Viewer KDR-A10 のパソコン画面の説明

- ① モニター画面:録画した映像が映し出されます
- ② 音量バー: 再生時の音量を調節します。
- ③ 1 つ前のファイルを再生
 - ■コマ戻し(1コマ戻る)
 - ▶ 再生開始
 - 一時停止(再生中のみ表示)
 - ■コマ送り(1コマ進む)
 - ▶ 早送り
- ④ G センサー (前後・左右・上下) の数値を表示
- ⑤ G センターの値をグラフで表示
- ⑥ 再生フォルダを選択
- ⑦ ⑧に表示させるファイルの種類を選択
 - 全てのファイル: すべての録画ファイルを表示
 - **FLAG ボタン ファイルのみ**:手動録画 ファイルを表示
 - ・衝撃ファイルのみ:衝撃検知録画ファイルを表示



- ⑧ファイルリスト表示(日付・時間・種類)
 - **ノーマル**:通常時録画ファイル
 - ・ボタン:手動録画ボタン検知前後の録画ファイル
 - ・ボタン検知:手動録画ボタンを検知した時の録画ファイル
 - 衝撃:衝撃を検知前後の録画ファイル
 - ・衝撃検知:衝撃を検知した時の録画ファイル
- チェックしたファイルを AVI 形式に変更 (P36 をご覧ください)
- ⑩ 現在表示中の画像を JPEG 形式に保存(P38 をご覧ください)

付属のソフトウェア

▶ 保存データの再生

SD メモリーカードに保存された映像データをパソコンで再生します。

1. 画面右上の「フォルダを選択してください」の横にあるボタン をクリックします。[図 1]

- フォルダの参照が表示されます。
 SD メモリーカードをセットした「DRVTIEWER」を選択し、 さらにその中の「DAT」フォルダを選択して「OK」をクリックします。
 「図 21
- ◆ SD カードスロットまたは接続した SD カードリー ダー (別売) の表示は、お使いのパソコンの OS、 構成などにより異なります。



[図1]



[図2]

- 3. ファイルの一覧が表示されます。[図3]
- 4. 再生するファイルをクリックします。 モニター画面にファイルの最初のシーンが表示されます。
- 5.「再生」 ▶ をクリックすると再生を開始します。[図 4] ファイル順に連続して再生します。
- 6. 再生中に「一時停止」 をクリックすると再生を一時停止 します。一時停止中に「コマ戻し」 ■ をクリックすると 1 コマずつのコマ戻し、同様に「コマ送り」 ■ をクリックす ると 1 コマずつのコマ送りします。 再度、「再牛」 ■ をクリックすると再牛を再開します。
- 7. 再生中に「早送り」 ▶ をクリックすると、早送りします。



[図3]



[図4]

付属のソフトウェア

録画した映像のファイル形式を変換する

本製品で録画した映像データを、AVI 形式に変換します。 この変換した映像ファイルは Windows 標準装備の Windows Media Player などで再生することができます。

- 1. ファイル一覧に表示されているファイルから変換したいファイルの左端にあるチェックボックス(☑)をクリックしてチェックを入れます。[図 1-A]
- 2. 変換するファイルの保存先を選択します。
 「AVI 形式の保存先を選択してください」の横にある ... を クリックすると「フォルダの参照」が表示されます。
 [図 1-B]

保存先のフォルダを選択して OK をクリックします。 [\boxtimes 2]





3. ■アイコンをクリックすると変換を開始します。[図3]

4.保存先のフォルダを開き、「年_月_日_時分秒」の動画ファイル(AVI 形式のファイル)をダブルクリックすると Windows Media Player などの動画再生ソフトで再生します。



[図3]

付属のソフトウェア

≫ 録画した映像を静止画(JPEG 形式)に変換する

本製品で録画した映像の瞬間を静止画にして保存することができます。

- 1. 変換するファイルの保存先を選択します。 「画像 (JPEG形式)保存先を選択してください」の横にある … をクリックすると「フォルダの参照」が表示されます。 保存先のフォルダを選択して OK をクリックします。[図1]
- 2.再生を開始します。 静止画にしたいシーンで「一時停止」 ■ をクリックします。 「コマ戻し」 ■ または「コマ送り」 ● で微調整します。[図 2-A]
- 3. ◎アイコンをクリックすると変換を開始します。[図2-B]
- 4.保存先のフォルダに、「年_月_日_時分秒」の静止画(JPEGファイル)があります。





SD メモリーカードがいっぱいになった時は…

SD メモリーカードがいっぱいになり、新たに映像が保存できなくなった場合、必要に応じて SD メモリーカードに記録したデータをパソコンに保存してバックアップしてください。

映像の削除方法は、P28「ドライブレコーダー本体で削除する」をご覧ください。

あるいは SD カードリーダー (別売) などを使用してパソコンに SD メモリーカードをセットします。

SDメモリーカード内の「DAT」ファイルを削除します。

削除範囲 このデータのみ 衝撃データ全て ボタンデータ全て



- ◆「システム設定」で「データ保護」を「する」に設定した映像ファイルも削除されますのでご注意く ださい。
- ◆削除されたデータは、元に戻せませんのでご注意ください。
- ◆新しい SD/SDHC メモリーカードを KDR-A10 ドライブレコーダーに取り付ける方法もあります。 新しい SD/SDHC メモリーカードはフォーマットする必要がありません。動作が不安定な場合は フォーマットしてください。
- ◆他のカメラなどで使用した SD/SDHC メモリーカードを使用する場合はフォーマットしてください。P29「SD/SDHC メモリーカードのフォーマット」をご覧ください。

故障かなと思ったら(トラブルシューティング)

症状 原因 処 置 シガープラグのヒューズが切れてい 規定のアンペア(A) ヒューズと交換 電源が入らない るのでは? してください SDメモリーカードを 適正なフォーマット形式でフォー P29「フォーマット」をご参照の上、 認識しない マットされていない 再度フォーマットを行ってください SDメモリーカードがきちんと入っ 録画が開始されない SD メモリーカードが奥まで挿入され ているか確認してください ていない SDメモリーカードの表裏が逆に SDメモリーカードが SD メモリーカードの表裏をよくご確 入らない なっているのでは? 認の上、再度挿入してください 製品故障ではありませんのでそのまま 走行中、画面が真黒の 走行中は画面に何も表示されません で使用ください。 ままになっている (製品の仕様)



◆ SD/SDHC メモリーカードによっては使用できないものもあります。

エラーメッセージ

▶ 各エラー表示

KDR-A10 ドライブレコーダー本体に電源が供給された際に、液晶モニターが赤くなり、「エラー」のメッセージが表示された場合は、本機は正常に作動しません。

「エラー」の表示の下に各種のメッセージが表示されますので、右のエラーメッセージリストをご参照の上、問題を速やかに解決した上でご使用ください。

問題が解決されると、電源が入ったときにエラーメッセージは表示されな くなります。

『エラー』

SDカードが 認識できません

エラーメッセージ	表示の意味
SD カードが認識できません	・SDメモリーカードが挿入されていない ・SDメモリーカードが破損している
SD カードがロック状態です	・SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがオンになっている
フラグメモリーが不足です 衝撃メモリーが不足です	・SDメモリーカードのメモリ容量が不足している (システム設定「データ保護」を「する」に設定時)
録画データがありません	・・録画したデータが無い

仕様 ▶】仕様

液晶モニター	カラー液晶	1.5 型
画像センサー	型式	カラー CMOS
	総画素数	約 30 万画素
	画角	(約)水平 112°垂直 92°
	フレームレート	5fps / 15fps
	画像サイズ	VGA (640 × 480) / QVGA (320 × 240)
センサー	G(加速度)センサー	10 段階設定
記録メディア	SD メモリーカード	SD メモリーカード 2GB 対応
		SDHC メモリーカード 4GB ~ 32GB 対応※1
録画	画像圧縮方式	MJPEG
	イベント録画時間※2	前約60秒、衝撃検知時/手動ボタン時約60秒、後約60秒
	保存可能時間(目安)*3	QVGA(15fps) :約5 時間 VGA(15fps) :約2 時間30 分 (4GB)
	日付/時刻	内蔵時計にて記録
	衝撃	内蔵 G センサーにて検出
	録画方法	常時録画/(G センサーによる) 衝撃検知録画/手動録画

再生	本体	映像
	TV 再生	映像+音声 (付属 AV ケーブルにて対応)
	パソコン再生	映像+音声+加速度(付属ソフトを使用)
外形	本体サイズ	約 幅 52×高さ 72×奥行 33mm
	重量	約 70g
	電源	DC12 / 24V (マイナスアース車専用)
付属品	取扱説明書、CD-ROM、電源ケーブル(4m)、AV ケーブル(3m)、六角レンチ、コードクリップ、両面テープ、SDHC メモリーカード(4GB)	

※ 1: Windows XP では 8GB まで対応

※2:イベント録画時間とは、衝撃検知録画・手動録画の録画時間です。

※3:保存可能時間は撮影条件により変動しますので、目安とお考えください。

| パソコンの動作環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- ●下記 OS がプリインストールされたパソコン
- USB インターフェース (2.0 以上) を標準装備した パソコン

Windows 対応 OS		
Windows XP (SP3) / Vista (32bit) / 7 (32bit/64bit) / 8 (32bit/64bit)		
CPU	Intel Pentium 4 3.0GHz 以上	
メモリー	1GB 以上(2GB 以上を推奨)	
ドライブ	CD-ROM ドライブ搭載	
インターフェース	USB2.0	
HDD の空き容量	32GB以上	

動作保証に関して

- 動作環境を満たすパソコンでも一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ●Windows OS をアップグレードしたパソコンでは 動作保証いたしません。
- ●USBハブや拡張 USB に接続した状態での使用、 自作機および改造を加えたパソコンについては 動作保証いたしません。
- ◆左記動作環境は最低限の条件を満たした仕様です。で使用の OS に適した動作環境が必要になります。
- SD/SDHC メモリーカードによっては使用できないものもあります。
- パソコンで再生する場合、付属ソフトのインストールとSDカードリーダー(別売)が必要となります。
- Mac OS には対応しておりません。

